

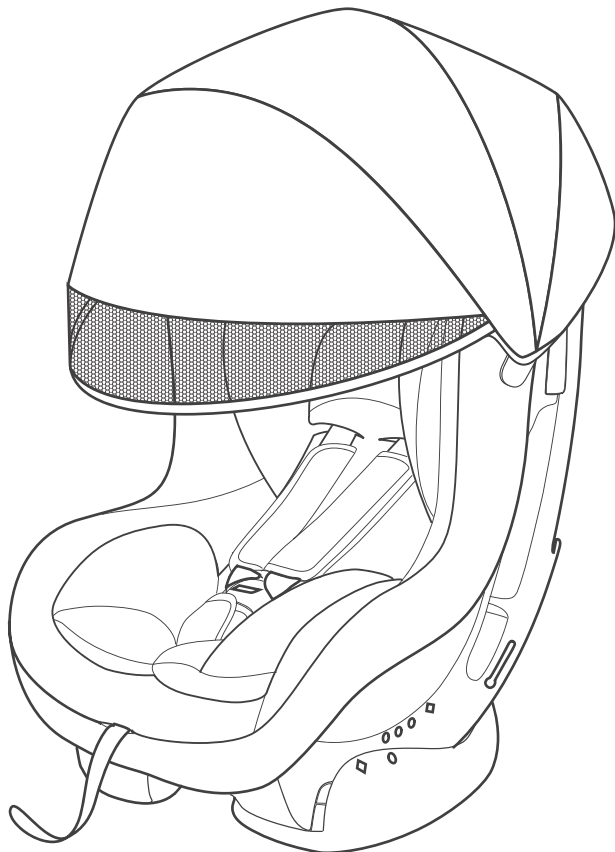
Joie™

ECE.R44/04
0-18kg
04444103

取扱説明書／保証書

tilt with canopy

チルト



このたびは、ジョイー・チャイルドシートをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、自動車の座席に取り付けて使用するチャイルドシートです。使用方法を誤ると、お子様ばかりでなく保護者を含めた他の乗員にも危険がおよぶおそれがあります。

本製品をお使いになる前に、かならず本取扱説明書を熟読し、内容を正しくご理解いただいた上でお使いください。本取扱説明書は、本体ベース底面の取扱説明書ホルダーに保管して、必要なときにいつでも参照できるようにしておいてください。

ジョイ・チャイルドシート Tilt について

本製品は、使用されるお子様の体重にあわせて、自動車の進行方向に対して、自動車の座席に後ろ向き、または前向きに取り付けて使用するチャイルドシートです。

取り付け可能な座席シートベルト

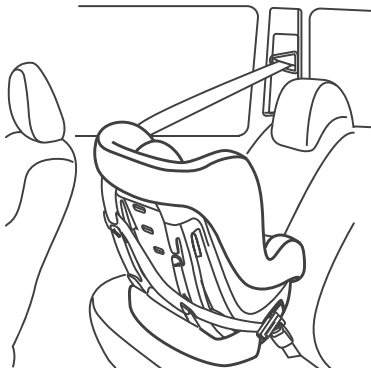
自動車の座席の3点式シートベルトによって固定します。ただし、3点式シートベルトでも、シートベルトの長さ、車種、座席形状などによって取り付けできない場合がありますのでご注意ください。

取り付けが可能な車種については、巻末に記載の「お客様サービス」にお問い合わせいただくか、P3記載のホームページの適合車種一覧を参照してください。

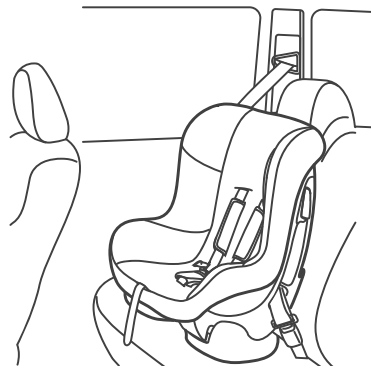
ECE R44/04 グループ 0 + / 1 適合

使用可能なお子様の体重

- 後ろ向き取り付けの場合 体重 18kg 以下（参考年齢 4 歳頃まで）
※生後 6 か月頃まではソフトパッドを使用します。
※お子さまの足がはみ出すなど、後ろ向き取り付けでは窮屈になった場合には、前向き取り付けで使用すること。
- 前向き取り付けの場合 体重 9kg 以上 18kg 以下（参考年齢 1 歳頃～ 4 歳頃まで）



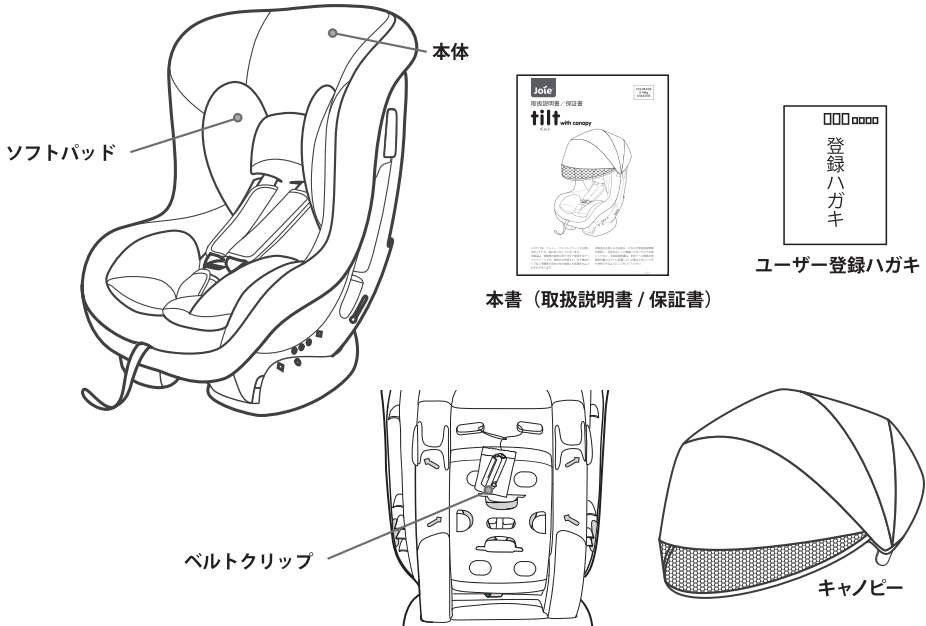
後ろ向き取り付け



前向き取り付け

最初にご確認ください

本製品には以下のものが同梱されています。まず、すべてのものが揃っていることを確認してください。足りないものや破損しているものがある場合、そのままご使用にならず、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



警告

本製品は、すべての自動車に取り付けられるものではありません。かならず、適合車種一覧をご確認ください。

また、適合車種一覧は、更新されていることもあります。下記ホームページにおきましても、適合車種一覧をご確認いただくことができます。

<http://www.katoji.co.jp/>

本製品を梱包しているビニール袋は、お子様の手の届かない所で直ちに廃棄してください。お子様があやまってかぶったりすると、窒息するおそれがあります。

もくじ／表記の説明




もくじ

表記の説明	4
お使いいただくことのできるお子様	5
ユーザー登録のお願い	6
急な動きの変化について	6
取り付けができない座席	6
座席シートベルトの種類の確認	9
各部の名称	10
禁止事項	12
緊急時の操作	14
自動車の座席について	15
お子様の正しい乗せかた	15
体格と体重の確認	15
リクライニングの操作	16
バックルの使いかた	16
ソフトパッドの使いかた	17
肩ベルトの高さの調節	18
お子様の固定のしかた	21
自動車の座席への取り付けかた	22
車のシートベルトの種類について	23
取り付けの準備	23
青色のマーキングと赤色のマーキング	23
後ろ向き取り付け	24
前向き取り付け	27
キャンピ어의使いかた	29
取り付けかた	29
使いかた	29
取り外しかた	30
お手入れのしかた	30
保証書	



表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意ください・留意いただくべき事項を、「危険」「警告」「注意」に区分して強調して表記しております。

この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品を使用するお子様や保護者の方、また、周りにいる方に重大な損害をおよぼすおそれがあります。

 危険	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
 警告	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
 注意	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

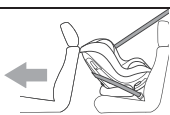
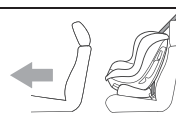
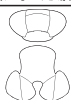

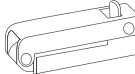
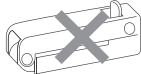
お使いいただくことのできるお子様

	この表示に付随して記載されている事柄は正しい状態にあることを示します。
	この表示に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されている状態にあることを示します。

本取扱説明書で使用しているイラストは、より理解しやすくするために強調、誇張等をおこなっており、実際とは異なる部分があります。

お使いいただくことのできるお子様

本製品は、欧州チャイルドシート基準の ECE R44/04 に適合するコンバーチブルタイプのチャイルドシートです。次の範囲のお子様にご使用いただけます。

	進行方向に対して後ろ向き	進行方向に対して前向き
取り付けの向き		
お子様の体重	18kg 以下	9kg 以上 18kg 以下
年齢の目安	～ 4 歳頃 <small>ただし、お子さまの足がはみ出すなど、後ろ向き取り付けでは窮屈になった場合、前向き取り付けで使用すること</small>	1 歳頃～ 4 歳頃
ソフトパッドの使用	 生後 6 カ月頃まで使用します	 使用してはいけません
ベルトクリップの使用	 使用します	 使用してはいけません

警告

●本製品の適合する ECE 基準は、体重によって規定されています。お子様の体重に応じて、本製品を、後ろ向きの取り付け、または、前向きの取り付けをしてご使用ください。お子様の体重に適さない取り付けかたは絶対にしないでください。

●月齢や年齢が適していても、規定体重を超えた場合、本製品を使用してはいけません。

●危険ですので、体重 9kg 未満のお子様は、前向き取り付けで使用してはいけません。

●体重が適していても、本製品にお子様を正しく座らせた際に、お子様の後頭部が本製品の背もたれからはみ出すようになったら、本製品を使用しないでください。

ユーザー登録のお願い

本製品を安全にご使用いただくため、国土交通省の推奨によって、ユーザー登録をお願いいたしております。本製品は、日本国内で使用を認められている欧州のチャイルドシート基準であるECE基準に適合しています。本製品は、当該基準に適合するよう製造されていますが、万が一基準に適合しない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合には、直ちに、その製品を購入されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にユーザー登録をお願いいたしております。

お預かりしたお客様の個人情報は、この緊急の連絡の目的にのみ利用させていただきます。

●お預かりしたお客様の個人情報の利用目的
本製品の安全性に関わる情報の伝達に限ります。

●お客様の個人情報の開示範囲
上記の利用目的のために必要となる範囲に限ります。なお、お客様に情報の伝達を迅速に行うために必要となる業者等を含みますが、この場合においても、他の目的にお客様の個人情報が利用されないよう厳格に指示いたします。

同梱のユーザー登録ハガキに必要事項を記載の上、投函いただきますよう、お願い申し上げます。

急な動きの変化について

チャイルドシートは、交通事故の際の衝撃や、自動車の急な動きの変化（急発進・急ブレーキ・急なハンドル操作など）によって生じる、お子様への負担や衝撃を軽減することを目的としており、お子様を交通事故や自動車の急な動きの変化から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子様が正しく固定されていなかったり、お子様の体重や体格が適さない状態で使用したりする

と、交通事故や車の自動車の急な動きの変化時に、本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子様の安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本取扱説明書および本製品本体の表示に従って、常に正しくご使用いただき、常に安全な運転を心がけるようにしてください。

取り付けができない座席

本製品は、自動車の座席の3点式シートベルトによって固定します。ただし、3点式シートベルトでも、条件によって取り付けできない場合がありますのでご注意ください。

取り付け可能な車種については、巻末に記載の「お客様サービス」にお問い合わせいただくか、P3記載のホームページの適合車種一覧を参照してください。

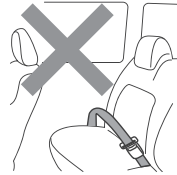
取り付けができない座席

⚠危険

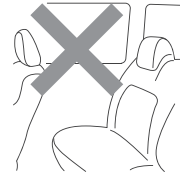
● 3点式シートベルト以外の座席

座席シートベルトが装備されていない座席はもちろん、2点式シートベルト（後部座席の中央座席を含む）、5点式シートベルトによる座席への取り付けはできません。

かならず、本製品が適合する車種で3点式シートベルトの付いた座席に取り付けてください。



2点式シートベルト



シートベルトのない座席

● 適合車種一覧で取り付け不可となっている車種または特定の座席

適合車種一覧で、取り付け不可となっている車種または特定の座席（適合車種でも、すべての座席に取り付け可能とは限りません）には取り付けできません。

取り付けようとしている自動車が適合車種一覧にない場合には、P3記載のホームページか、巻末の保証書に記載のお客様サービスでご確認ください。

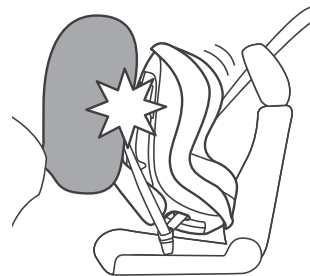
● フロントエアバッグが機能している座席での後ろ向き取り付け

後ろ向き取り付けをした座席でフロントエアバッグが作動すると、本製品が急激に押し出されて、お子様が死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

車の種類によっては、チャイルドシートを取り付けるために、フロントエアバッグの機能を停止させる機能が装備されている場合があります。※フロントエアバッグの機能を停止させる方法については、自動車の取扱説明書をご確認ください。

※この場合、助手席に前向き取り付けをすることができますが、より安全な後部座席での使用をお勧めいたします。

※カーテンエアバッグ、サイドエアバッグのみの場合は使用できません。



● パッシブシートベルトが装着されている座席

輸入車の一部にみられる、前席において、ドアを閉めると自動的に座席シートベルトが装着さ

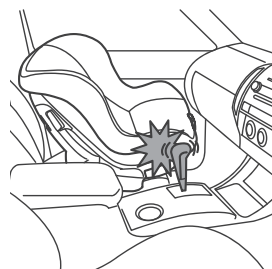
れる、いわゆるパッシブシートベルトが装着されている座席には、本製品を取り付けできません。

取り付けができない座席



●本製品を取り付ける事によって自動車の運転、操作に支障をきたす座席

本製品を取り付けることによって、ドアミラーが見えにくくなったり、サイドブレーキやシフトレバー、ハンドルウインカーなどの操作に影響を与える座席、また、ドアの開閉や、可動式座席の動きに影響を与える座席には取り付けできません。



●安定して固定できない座席

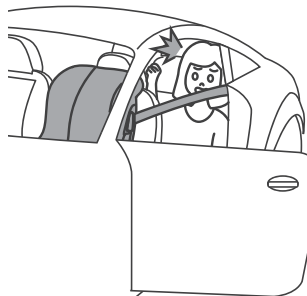
レース用のシート（バケットシート）などの極端な凸凹がある座席、サイズの小さな座席、補助席、本製品を取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席では、本製品が安定しないため、取り付けることができません。

適合車種でも、限定モデルにおいて特殊な座席が装備されている場合、また、座席そのものが交換されている場合などもありますので、ご注意ください。



●乗員の脱出に影響を与える座席

2ドアや3ドア自動車、ワンボックス車やミニバン車など、後部座席に本製品を取り付けることにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出できないおそれのある座席には取り付けできません。実際に本製品を座席に取り付け、固定する前に、緊急時を想定して、取り付けようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から、他の乗員が容易に乗降できるか、また、緊急時にお子様を迅速に脱出させることができるかをかならず確認してください。



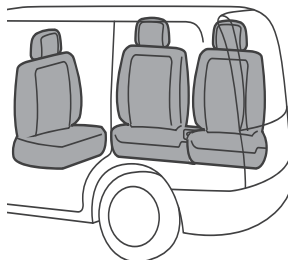
取り付けができない座席／座席シートベルトの種類の確認

⚠危険

●前向き以外の座席

本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ取り付けすることができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席には、取り付けができません。

また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席、バス、電車、飛行機、船などの座席にも取り付けができません。



●その他、しっかりと取り付けられない座席

その他、座席の形状やサイズ、座席シートベルトの長さ、自動車のシートベルトのバックルの高さや仕様、前後の位置などが影響し、本取扱説明書にしたがっても、しっかりと取り付けがで

きない座席があります。しっかりと取り付けられない座席では、絶対に使用しないでください。

座席シートベルトの種類の確認

本製品は、進行方向に対して前向きに設置され、かつECE-R16に準拠した3点式シートベルトを装備した自動車の座席に取り付けられるように設計されており

ます。ただし、3点式シートベルトにも方式による種類があり、種類によっては、本製品が正しく取り付けら

れない可能性があります。次の図の説明を参考にし、取り付けようとする自動車の取扱説明書を確認するか、または自動車のメーカー、お買い求めになった自動車の販売店に問い合わせるなどして、装備されている3点式シートベルトの種類を確認してください。

⚠危険

シートベルトの種類が適合していても、他の条件により、本製品を正しく取り付けられない可能性があります。取り付け可能な車種については、適合車種一覧をご確認ください。

適合車種一覧で、取り付け不可、とされている車種、座席には、絶対に取り付けないでください。

座席シートベルトの種類の確認／各部の名称

シートベルトの種類	機能・特徴	取付	取り付けの注意点
ALR 自動ロック式 ベルト巻取り装置	シートベルトを引き出して途中で止めるとその位置で固定され、戻す方向にしか動かなくなる（それ以上引き出せなくなる）。最後まで戻しきると固定機能が解除される。	×	取り付けできません。
ELR 緊急ロック式 ベルト巻取り装置	ゆっくりとならばシートベルトを引き出すことができるが、強く引くと固定され、それ以上引き出せなくなる。	○	ゆっくりとシートベルトを引き出して本製品を取り付けてください。
NR	固定機能がなく、どの状態でもシートベルトの引き出し、戻しができる。	×	取り付けできません。
ELR/ALR チャイルドシート 固定機構付 ベルト巻き取り装置	通常時は ELR として機能。シートベルトを最後まで引き出すと、ALR に切り替わり、シートベルトが最後まで引き戻ると、再び ELR に切り替わる。	○	ELR モードで取り付けてください。ALR に切り替わってしまった場合には、シートベルトを最後まで引き戻して、ELR モードに切り替えてください。
その他のシートベルト	パッシブシートベルト・2点式・5点式シートベルトなど。	×	取り付けできません。

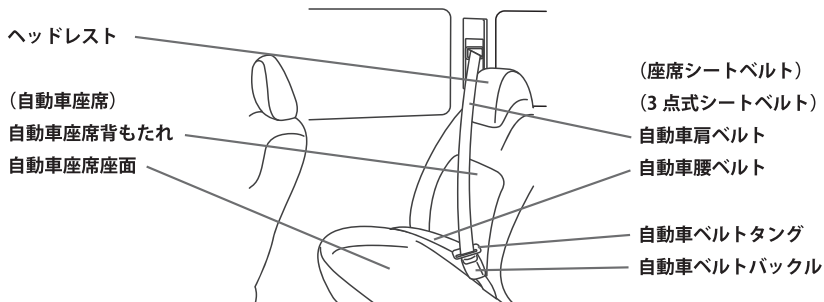
※中古車やディーラー限定モデルなど、特別仕様車の場合には、座席やシートベルトの種類が自動車の取扱説明書の内容と異なることがあります。確認できなかった場合には、自動車のメーカーや、自動車をお買い求めになったディーラーにお問い合わせください。

各部の名称

本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いております。本取扱説明書の記載内容に関して、必要に応じてご確認ください。

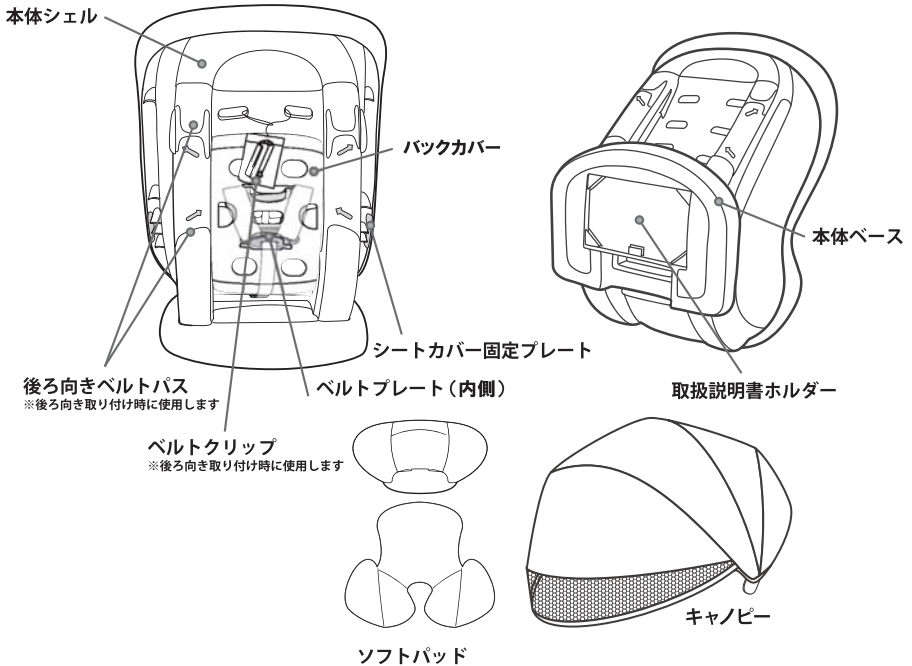
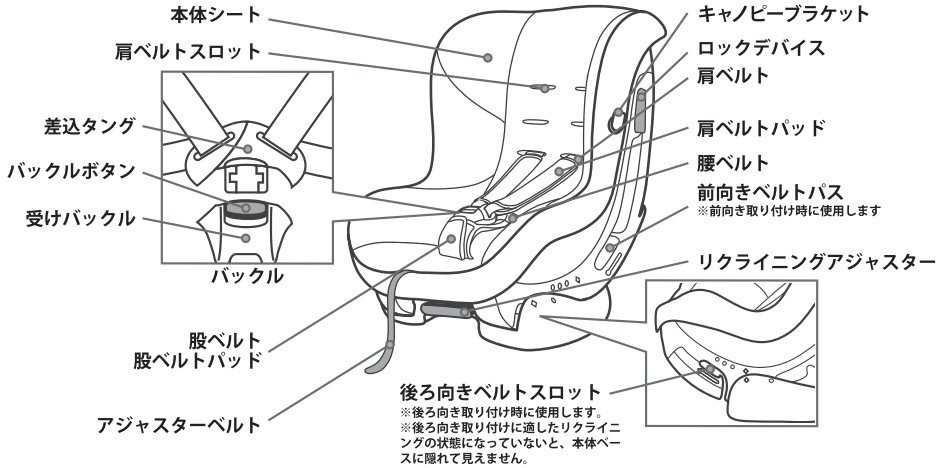
●自動車に関わる部位、部品の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。特に、シートベルトやバックルなど、自動車と本製品で同じ名称の部位、部品がありますので、これらを区別するため、本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。



●本製品に関わる部位、部品の名称

※文中において、肩ベルト、股ベルト、腰ベルトを総称して、乳幼児ベルトと表記している箇所があります。
 ※本取扱説明書は、常に「取扱説明書ホルダー」に保管し必要に応じていつでも参照できるようにしておいてください。



禁止事項

禁止事項

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子様のみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。

ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい事柄や、「してはならない」禁止事項について説明しております。

⚠危険



以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

●本製品を正しく自動車座席に固定しない。

本製品は、本取扱説明書および本製品本体に記載されている指示に従って、正しく自動車座席に固定してください。正しく固定されていないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず大変に危険です。

●お子様を正しく固定しないで使用する。

本取扱説明書の記載に従い、正しくお子様を固定してください。規定された体重に適さないお子様に使用したり、乳幼児ベルトを間違えて使用したり、お子様を立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子様を座らせたりしてはいけません。



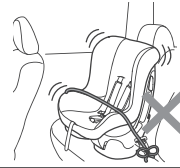
●条件に適さないお子様に使用する。

本製品は、欧州のチャイルドシート基準のECE R44/04グループ0+/1に適合するコンビチャイルドタイプのチャイルドシートです。この基準により、使用できる条件と本製品の取り付け方法(後ろ向き取り付けまたは前向き取り付け)が定められています。P5の「お使いいただくことのできるお子様」の条件に満たない、または超えたお子様は、本製品を使用してはいけません。

⚠危険

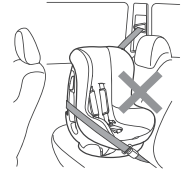
●自動車の座席シートベルト以外での取り付け。

本製品は自動車の座席シートベルトによって取り付けます。ヒモやベルトなど座席シートベルト以外で本製品を取り付け、固定してはいけません。また、座席シートベルトで取り付けられた本製品に、更にヒモやベルト、テープなどで補強してはいけません。通常のご使用中でも、ヒモやベルトにお子様の首が絡むなどして、窒息するなどの重大な事故につながるおそれがあります。



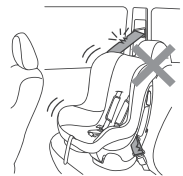
●指定以外の向きでの座席への取り付け。

本製品は、所定の条件によって、自動車の座席に、後ろ向き、または前向きに取り付けます。横向きなど、本取扱説明書に記載されていない向きで取り付けてはいけません。



●損傷した座席シートベルトでの取り付け。

損傷している座席シートベルトで本製品を取り付けてはいけません。交通事故や自動車の急な動きの変化の際に座席シートベルトが切断し、本製品が座席から外れ、お子様や他の同乗者が死亡または重傷を負うおそれがあります。



●強い衝撃を受けた本製品/損傷した本製品の使用。

落下、車のドアで強くはさむ、交通事故にあったなど、一度でも強い衝撃を受けた本製品は使用してはいけません。目に見えない損傷によっても、本製品が安全に機能しない可能性があります。また、明らかに損傷のある本製品を使用してはいけません。



警告



警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

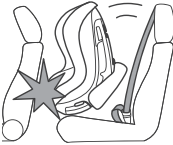
●走行前に本製品の状態を確認しない。

走行前には、本製品が正しく自動車の座席に取り付けられているかどうか、かならず確認してください。お子様や、他の乗員などが、本製品に触れたり、固定している自動車の座席シートベルトに触れたりして、本製品の取り付けがゆるんでしまっている可能性もあります。



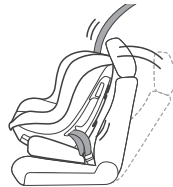
●正しく取り付けしていない本製品を座席に置く。

お子様が使用しない場合でも、自動車に本製品を載せる際には、本製品を正しく自動車の座席に固定してください。正しく取り付けしていないと、交通事故や自動車の急な動きの変化の際に本製品が移動し、他の同乗者にあたるなどして、死亡または重傷を負うおそれがあります。



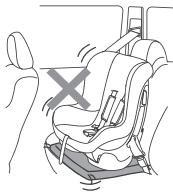
●本製品を取り付けた後に自動車の座席のリクライニングを操作する。

本製品を取り付けた後に、取り付けた自動車の座席のリクライニングを操作すると、取り付けがゆるむなどして、交通事故や自動車の急な動きの変化の際に本製品が自動車の座席から外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。



●本製品の下にクッションや敷物などを敷く。

座布団やクッションなどの敷物を置いた自動車の座席の上に本製品を取り付けてはいけません。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品を正しく取り付けた際に、自動車の座席にくぼみや傷が生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。



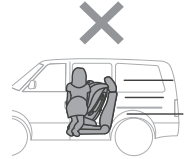
●お子様の状態を確認しない。

本製品の使用中は、適宜、安全な場所に自動車を停めてお子様の状態を確認するようにしてください。

警告

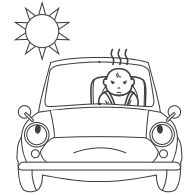
●走行中に本製品を操作する。

自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。取り付け状態の確認や、お子様の固定状態の確認でも、走行中には操作してはいけません。走行中に異常を発見したり、取り付け状態や、お子様の固定状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



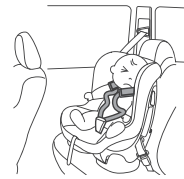
●お子様を車内に放置する。

いかなる場合でも、お子様を自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、本製品から抜けようとして、乳幼児ベルトに絡まって窒息したり、誤って自動車の操作をしたりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



●乳幼児ベルトがゆるんだ状態で使用する。

乳幼児ベルトは、常に適切な状態で使用してください。交通事故や自動車の急な動きの変化の際にお子様にも過剰な衝撃が加わったり、お子様が本製品から飛び出したりするおそれがあります。また、乳幼児ベルトがゆるんでいると、お子様の首に絡むなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



●本製品の改造と指定外部品の使用。

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品の改造、指定外部品への交換、本製品に同梱されていないアクセサリや部品を本製品に取り付けて使用しないでください。



●本製品の部品を取り外して使用する。

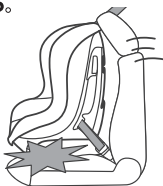
本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外して使用しないでください。シートカバーや、ウレタンも安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様に、本体に貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。

禁止事項／緊急時の操作

警告

●本製品に過度の負担をかける。

本製品に損傷を与えるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたり、自動車の座席のリクライニングで強く挟んだりしないでください。また、過度の負担が掛かると、本製品の取り付けがゆるんでしまう可能性もあります。



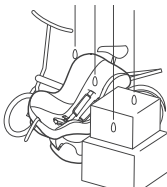
●中古品および劣化した本製品の使用。

中古品は、過去の履歴や保管状況、使用状況が不明なため、使用してはけません。また、部品の劣化の影響などにより、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、購入日から6年を経過した本製品は使用しないようにしてください。



●不適切に保管する。

部品の劣化が早まったり、正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。



注意

注意

以下に記載されている事項を守らないと、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損傷をあたえる可能性があります。

●野外に駐車した際の過熱に注意する。

ヤケドを負うおそれがありますので、本製品の金属部品や樹脂部品が日光により過度に熱くなっていないか確認してから、お子様を乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、本製品に覆いをするなどして過熱を防ぐようにしてください。

●本製品を目的外で使用しないでください。

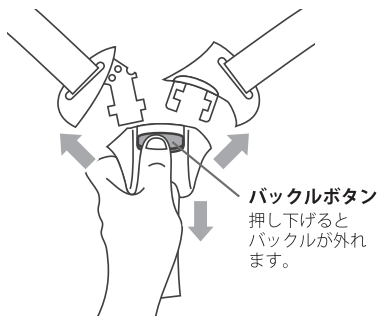
室内用の椅子として使用したり、ショッピングカートに乗せて使用するなど、本製品をチャイルドシート以外の目的で使用しないでください。使用中に思わぬ事故が発生する可能性があるだけでなく、チャイルドシートとしての機能に悪影響を与える可能性もあります。

●固定されていない物に注意する。

交通事故や自動車の急な動きの変化の際に、本製品を使用しているお子様のみならず、他の同乗者に当たりケガを負うおそれがありますので、自動車内に置いてある物品は適切に固定するようにしてください。

緊急時の操作

交通事故など、緊急時には、あわてず、本製品のバックルボタンを押し下げて、乳幼児ベルトを外し、速やかにお子様を自動車外に脱出させてください。この際、お子さまに乳幼児ベルトや自動車の座席シートベルトが絡まないように注意してください。バックルボタンが機能しない場合は、本製品を固定している自動車の座席シートベルトを外して本体ごと自動車外に脱出させるか、または、市販のシートベルトカッターなどを使用して乳幼児ベルトを切断し、お子様を車外に脱出させてください。



自動車の座席について／お子様の正しい乗せかた

自動車の座席について

本製品は、お子様を保護するため、自動車の座席に強くしっかりと取り付けられる必要があります、これにより自動車の座席にへこみや痕、表皮に傷が付く場合があります。本製品を正しくご使用いただいた結

果、自動車の座席にこれらの損傷が生じる可能性があることをあらかじめご了承くださいませ。当社は、これらの損傷に関しての損害賠償の責を負わないものとさせていただきます。

お子様の正しい乗せかた

本製品を正しくお使いいただくため、実際に自動車の座席に取り付けてご使用いただく前に、お子様を本製品に乗せて以下の項目の確認と調節をおこなってください。

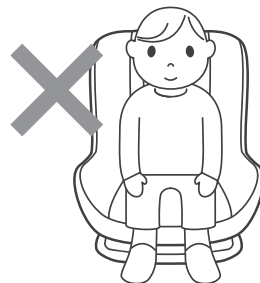
まずは、お子様の体格と体重を確認します。

体重と体格の確認

P5に記載の、「お使いいただくことのできるお子様」を参照し、お子様の体重に応じて本製品の取り付けの向き（後ろ向き取り付け、または、前向き取り付け）を確認します。

お子様の体重が、適応体重を超えた場合には、本製品を使用してはいけません。

また、適応する体重の範囲内でも、お子様のご成長に伴い、乳幼児ベルトで正しく固定できなくなったり、頭頂部が本製品からはみ出したり、足が本製品から極端にはみ出したりするようになったら、本製品の使用を中止してください。

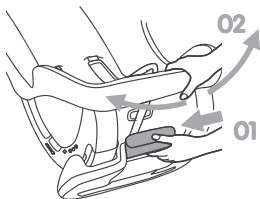


適応体重	取り付けの向き	ソフトパッド ベルトクリップ	リクライニング
体重 18kg 以下	後ろ向き取り付け <small>ただし、お子さまの足がはみ出すなど、後ろ向き取り付けでは窮屈になった場合、前向き取り付けで使用すること</small>	使用します <small>ソフトパッドは生後6カ月頃まで使用します</small>	リクライニング調節はできません。 背もたれの角度は、本体シェルの青いダイヤモンド型マークの3か所の位置で合わせます。それ以外の位置では使用できません。
体重 9kg 以上 18kg 以下	前向き取り付け	使用できません	リクライニング調節ができます。 本体ベースの赤い丸型マークと、本体シェルの赤い丸型マークの3か所いずれかの位置を合わせます。この3か所でリクライニング角度を調節することができますので、お子様の様子を見て、適切な角度で固定してください。

お子様の正しい乗せかた

リクライニングの操作

- 01 リクライニングアジャスターを押し込みます。
- 02 そのまま（リクライニングアジャスターを押し込んだまま）、シートの前を押すか、引くかして、リクライニング角度を調節します。



- 03 本製品を横から眺めて、以下の通り、本体ベースのマークと、本体シェルのマークが適切な位置で重なっているか、確認します。

●本製品を後ろ向きに取り付ける場合。

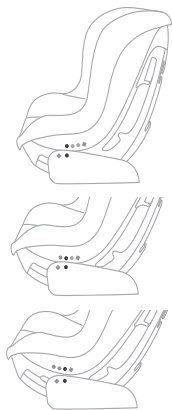
体重 18kg 以下のお子さま



本体シェルの青いダイヤモンド型のマークと、本体ベースの青いダイヤモンド型のマークが一致するようにリクライニングを調節します。

●本製品を前向きに取り付ける場合。

体重 9kg ~ 18kg 以下



本体シェルにある3箇所の赤い丸型のマークのいずれかと、本体ベースの赤い丸型のマークが一致するようにリクライニングを調節します。この3段階でリクライニングの角度を調節します。

警告

後ろ向き取り付けの場合

後ろ向き取り付け時は、リクライニングの調節はできません。青いダイヤモンド型のマークを使用して位置を合わせます。

前向き取り付けの場合

前向き取り付け時には、本体シェルの3か所の赤い丸型マークと本体ベースの赤い丸型マークで位置を合わせます。

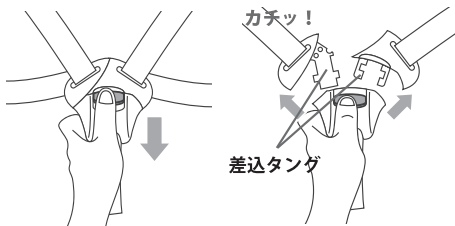
これらの条件にあてはまらない状態で本製品を使用してはいけません。

バックルの使いかた

バックルは、乳幼児ベルトを使い、お子様を本製品に固定する重要な部品です。

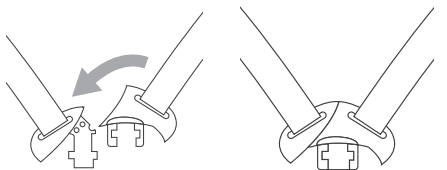
●バックルの外しかた。

- 01 バックルボタンを、図の方向に押し下げると、「カチッ」と音がして、差込タングが外れます。

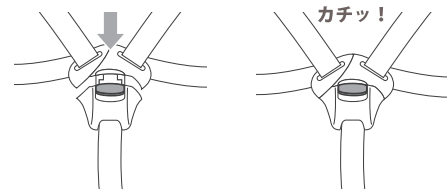


●バックルの留めかた。

- 01 向かって左の差込タングの上に、右の差込タングを重ねます。この際に、肩ベルトをねじらないように注意してください。



- 02 そのまま、受けバックルに差し込んでいきます。「カチッ」と音がするまで、差し込みます。



お子様の正しい乗せかた

- 03 差し込んだら、軽く肩ベルトを引っ張って、しっかりとバックルが留まっていることを確認してください。

警告

しっかりと留まらないなど、バックルに異常が認められる場合には、本製品を使用しないでください。

正常に機能しなくなるおそれがありますので、バックル内部に、油などの潤滑剤をささないでください。

ソフトパッドの使いかた

後ろ向き取り付け時、生後6カ月頃までは、ソフトパッドを取り付けて使用してください。お子さまが成長し、ソフトパッドを取り付けると窮屈になる場合は、ソフトパッドを取り外して使用してください。

ご購入時には、ソフトパッドが取り付けられ、肩ベルトは最も低い位置にあらかじめ調節されていますが、念のため、状態を確認するようにしてください。

警告

以下の状態ではソフトパッドを使用しないでください。

- 前向き取り付けでの使用

ポイント！

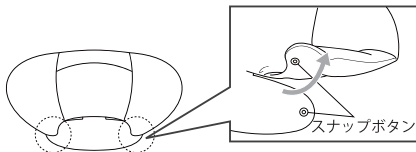
ソフトパッドを再度取り付ける場合には、以下の説明の逆の手順で、取り付けるようにしてください。

●ソフトパッドの外しかた。

ソフトパッドは、上下の2つに分かれています。

頭側(上)のソフトパッドは、スナップボタンを外して、肩ベルトから取り外します。

01



バックルを外し、座面側(下)のソフトパッドを取り外します。

02



警告

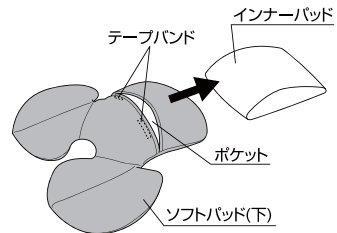
ソフトパッドを取り付けなおす場合には、あらかじめ使用するお子様の体格に合わせて、肩ベルトの高さを低い位置に調節してから取り付けなおしてください。

乳幼児ベルトにねじれがでないように注意して、ソフトパッドを取り付けなおしてください。

●ソフトパッドのお手入れ。

ソフトパッドのカバーは、お手入れすることができます。お手入れする際には、おしりの部分のインナーパッドを取り外してください。お手入れの方法は、P30「お手入れのしかた」をご参照いただき、他のカバー類と同様に取り扱いってください。

- 01 座面側(下)のソフトパッドの、裏面のポケットから、インナーパッドを抜き取ります。



警告

お手入れ後は、かならず、正しくインナーパッドを戻してください。インナーパッドが正しく挿入されていないと、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

お子様の正しい乗せかた

肩ベルトの高さ調節

お子様の体格に合わせて、肩ベルトの高さを調節します。

肩ベルトの高さは、3段階で調節できるようになっています。

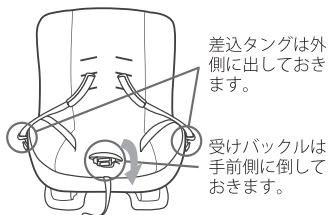
最初に、お子様の肩の高さを確認します。

警告

ご購入時には、あらかじめソフトパッドが取り付けられ、肩ベルトの高さは最も低い位置に調節されていますが、念のため、状態をご確認ください。

01 P16の「リクライニングの操作」を参照して、お子様の体格に応じてリクライニングの角度を適切に調節します。

02 お子様はバックルを下に敷かないように、バックルを外して、図のようにしておきます。



03 お子様の背筋が伸びた状態で、楽な姿勢にして、本製品に乗せます。この際に、バックルやベルトの上に、お子様が乗らないように注意してください。



楽な姿勢



浅すぎる



深すぎる

警告

肩ベルトの高さを適切に調節するためには、お子様が正しい姿勢で本製品に乗っている必要があります。

本製品を実際に使用される際にも、肩ベルトの高さを調節したときと同じく、お子様を正しい姿勢で本製品に乗せるようにしてください。

04 適切な高さの肩ベルトスロット（取り出し位置）を確認してください。肩ベルトスロットは3段階の高さになっています。下図を参照して、どの肩ベルト穴の位置が適切な高さを確認してください。本製品の調節作業を引き続き行う場合、適切な高さの確認ができれば、お子様を安全な場所に移動させてください。



ポイント！

後ろ向き取り付けの場合には、通常、肩ベルトスロットの下の2段を使用します。

前向き取り付けの場合には、通常、肩ベルトスロットの上の2段を使用します。

注意

バックルが留まっていない状態では、お子様が差込タンクや、バックル、乳幼児ベルトに触り、思わぬケガを負うおそれがあります。適切な高さの確認ができれば、直ちにお子様を本製品から降ろして、安全な場所に移動させてください。

05 バックルを留めます。

ポイント！

この後の作業が行いやすくなるので、この時点でバックルを留めておいてください。

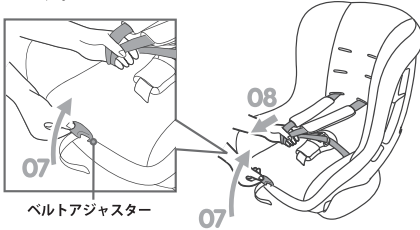
06 リクライニングを最も立てた状態にします。リクライニングが寝た状態だと、次の操作が行いにくくなります。



お子様の正しい乗せかた

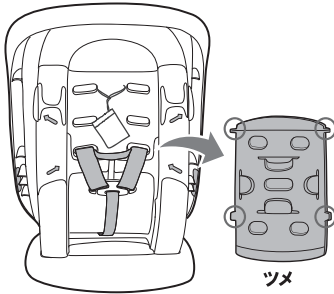
07 片方の手で、左右の肩ベルトを束ねて持ち、別の手でベルトアジャスターを押し上げながら、

08 肩ベルトを引っ張り、乳幼児ベルトをゆるめます。



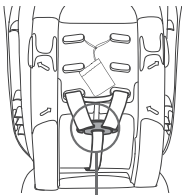
ベルトアジャスター

09 本体シェル背面のバックカバーを外します。バックカバーは、4本のツメで本体シェルに留められています。



ツメ

バックカバーを外したら、本体シェル背面にベルトプレートが見えていることを確認してください。

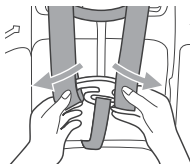


ベルトプレート

ポイント！

ベルトプレートが見えていない場合、次の原因が考えられます。
リクライニングが寝た状態になっている。
乳幼児ベルトが締まっている（ゆるんでいない）。

10 ベルトプレートから左右の肩ベルト（ループ状になっています）を抜き取ります。

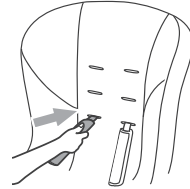


ポイント！

肩ベルトパッドの上側（肩ベルトスロット側）の部分は、左右とも2本のベルトが上下に重なっており、下のベルトを持つと、肩ベルトを抜く事ができません。肩ベルトを抜き取る際には、肩ベルトパッドの下側（バックル側）を持つようにしてください。

11 肩ベルトが完全に抜けると、肩ベルトスロットに、肩ベルトパッドがぶら下がった状態になります。

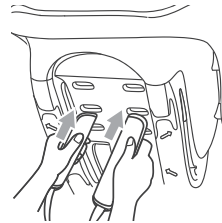
12 肩ベルトパッドを、肩ベルトスロットに押し込んで、本体シェルの後ろ側に抜き取ります。左右の肩ベルトパッドは、本体シェルの裏側で1本のベルトでつながっています。



13 肩ベルトパッドを、本体シェルの後ろ側から、確認した適切な高さの肩ベルト穴に差し入れて通します。この際に、次のポイントにご確認ください。

左右の肩ベルトパッドをつなぐベルトをねじらないでください。

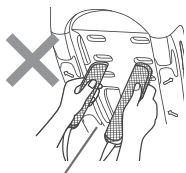
肩ベルトパッドには、上下があります。ゴム素材でコーティングされた側が、お子様の身体側にくるようにしてください。



お子様の正しい乗せかた

⚠ 危険

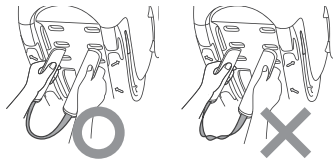
肩ベルトパッドの片面には、安全性能をより高めるために、特殊な滑り止め加工がしてあります。このため、肩ベルトパッドの上下(裏表)を間違えると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。



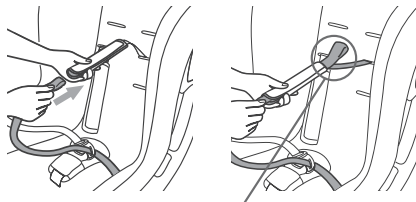
滑り止め加工してある側を、上にしてはいけません。

⚠ 警告

左右の肩ベルトパッドをつなぐベルトにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。



- 14 ねじれないように注意しながら、左右の肩ベルトを、左右の肩ベルトパッドに差し入れて通します。肩ベルトは、肩ベルトパッドの下側(バックル側)から入れて、上側から取り出します。肩ベルトパッドのベルトの上側に、肩ベルトがでできます(肩ベルトパッドの上下が間違っていると、肩ベルトパッドのベルトの下側に肩ベルトがでできます)。

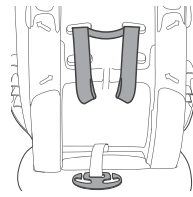
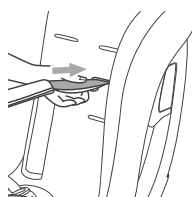


肩ベルトパッドのベルトの上側に、肩ベルトがでできます。

⚠ 警告

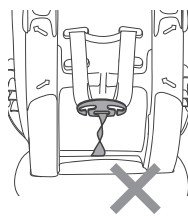
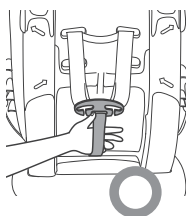
肩ベルトにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

- 15 肩ベルトパッドからでてきた肩ベルトを、左右それぞれ肩ベルトパッドと同じ高さの肩ベルト穴に通し、本体シェルの裏側から取り出します。下の右図のようにになっていることを確認してください。特に、ベルト類にねじれがないか、肩ベルトパッドの上下に間違いがないか、を注意して確認してください。

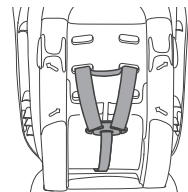
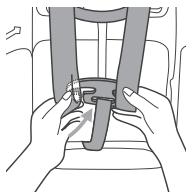


本体シェル背面から見た状態

- 16 ベルトプレートの左右、表裏を正しい状態にします。ベルトプレートを取り付けているベルトにねじれがなければ、ベルトプレートの左右、表裏は正しい状態になっています。



- 17 ベルトにねじれがでないように注意しながら、左右の肩ベルトのループをそれぞれ、ベルトプレートの左右に取り付けます。下右図のような状態になっている事を確認してください。



ベルトプレートの溝から差し入れて取り付けます。

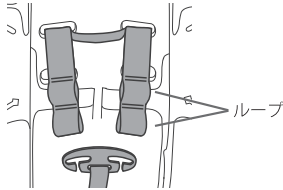
⚠ 警告

すべてのベルトにねじれが生じないようにしてください。ねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

お子様の正しい乗せかた

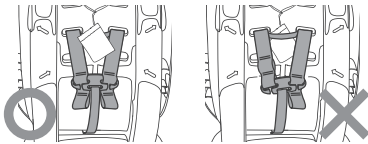
ポイント！

左右の肩ベルトそれぞれ2か所に肩ベルトのループがあります。お子様の月齢が低い間など、乳幼児ベルトが長すぎる場合、上側のループを使えば、乳児用ベルトを短くすることができます。お子様の体格に合わせて調節するようにしてください。



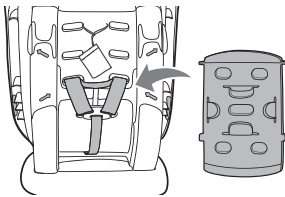
警告

肩ベルトのベルトループは、左右同じ位置で調節するようにしてください。左右の位置（長さ）が異なると、事故や自動車の急な動きの変化の際にお子様を正しく保護することができないおそれがあります。

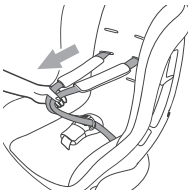


ベルトクリップの入った袋は常に、一番上にくるようにしてください。他のベルトで挟みこまないように注意してください。

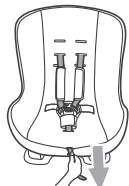
- 18 バックカバー取り付けます。ベルトクリップの入った袋は外側に出しておいてください。



- 19 最後に次のポイントを確認してください。



バックルを留めて、左右の肩ベルトを引いても肩ベルトが抜けなことを確認します。

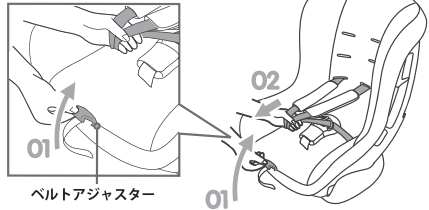


アジャスターベルトを引っ張ると、肩ベルトが締まること（肩ベルトのゆるみがなくなります）を確認します。

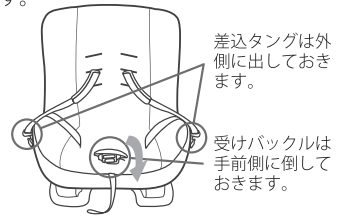
お子様の固定のしかた

リクライニングの調節と肩ベルトの高さの調節が正しく完了したら、お子様を本製品に乗せて固定します。

- 01 片方の手で、左右の肩ベルトを束ねて持ち、別の手でベルトアジャスターを押し上げながら、
02 肩ベルトを引っ張り、乳幼児ベルトをゆるめます。



- 03 バックルを外し、肩ベルトを左右に広げ、股ベルトを前側に倒して、お子様を乗せやすくします。



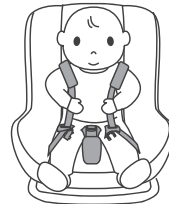
- 04 お子様を、正しい姿勢（P18の「肩ベルトの高さ調節」03の図を参照してください）で本製品に乗せます。

注意

お子様が座る部分に、玩具や異物など硬いものがない事を確認してください。

夏場など、本製品が過熱している可能性がありますので、お子様を乗せる前に、温度を確かめるようにしてください。

- 05 両足を股ベルトの間に入れ、両肩を肩ベルトに通します。

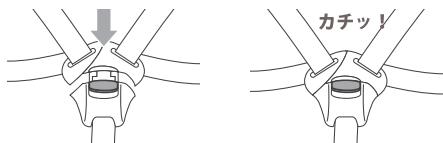


お子様の正しい乗せかた／自動車の座席への取り付けかた

警告

肩ベルト、股ベルトにねじれがない事を確認してください。乳幼児ベルトにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

- 06 腰ベルトが、お子さまの骨盤の位置になるようにして、バックルを留めます。



警告

衝撃を骨盤で受けられるよう、腰ベルトは、必ずお子様の骨盤の位置を通るようにしてください。腹部や、太もも部に腰ベルトが通っていると、衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあります。

乳幼児ベルトや、肩ベルトパッドが正しく機能しなくなるおそれがありますので、厚みのあるダウンジャケットなど、厚着したままでの本製品のご使用は避けてください。

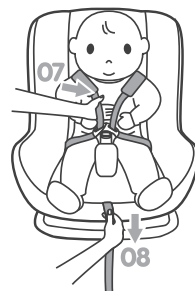


毛布や座布団などの敷物を本製品の座席にしかかないでください。事故や自動車の急な動きの変化の際にお子様やすべるなどして、本製品が正しく機能しなくなるおそれがあります。



おくるみなど、両足が出ない(股ベルトを両足で挟めない)構造の着衣で本製品を使用しないでください。

- 07 肩ベルトとお子様の中に、片手の掌を差し込んで、
- 08 別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引っ張り、ベルトを締めつけていきます。差し込んだ掌が肩ベルトとお子様の身体の間に挟まれるまで、アジャスターベルトを締めつけてください。



- 09 最後に、腰ベルトが、お子さまの骨盤の位置に通っているか、確認してください。

警告

乳幼児ベルトが強く締めすぎるおそれがありますので、アジャスターベルトを、勢いよく引っ張らないでください。

強くベルトが締まるほど、お子様の保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子様が苦しくなってしまいます。逆に、締めつけがゆるすぎると、事故や自動車の急な動きの変化の際にお子様を正しく保護することができません。かならず、大人の片手の掌が差し込める程度に締めつけるようにしてください。

ポイント！

バックルは、お子様には操作しにくい構造になっていますが、誤ってバックルを操作すると、大変危険です。お子様がバックルを操作しないよう、本製品を使用の際は常に、バックルを触らせないよう注意してください。

自動車の座席への取り付けかた

本製品は、自動車の座席の3点式シートベルトによって固定します。ただし、3点式シートベルトでも、条件によって取り付けできない場合がありますのでご注意ください。

取り付け可能な車種については、適合車種一覧を参照してください。

自動車の座席への取り付けかた

車のシートベルトの種類について

3点式シートベルトでも、種類によっては、本製品を取り付けられない場合があります。

この先の作業を続ける前に、本製品を取り付けようとする自動車の取扱説明書をご確認いただき、装備されている3点式シートベルトの種類を確認してください。

本製品の取り付け作業の途中で、座席シートベルトの固定機能が働いてしまうと、それ以上の作業ができなくなってしまいます。固定機能が働いてしまった場合には、P9の「座席シートベルトの種類の確認」の記載および車の取扱説明書を参照し、固定機能を解除して作業を続けてください。

取り付けの準備

後ろ向き取り付け、前向き取り付け、共通して行う準備です。

⚠ 危険

適合車種一覧に記載されている車種でも、条件によっては、本製品を正しく取り付けができない場合があります。いま一度、P6「取り付けができない座席」をご確認いただき、本製品を正しく取り付けできる座席かどうかをご確認ください。

⚠ 注意

取り付け作業中、お子様を本製品に近づけないでください。

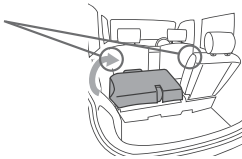
お子様を乗せたままで、取り付け作業を行わないでください。

01 本製品を取り付ける自動車の座席に、リクライニング機能がある場合には、本製品を取り付け操作しやすい角度にリクライニングさせてください。

⚠ 危険

後部座席の背もたれが可倒式になっている後部座席(トランクを広く、また、長い物品を収納するため、後部座席の背もたれが前方向に倒れる座席)に本製品を取り付ける場合、背もたれを確実に固定してください。固定されていないと、自動車の急な動きの変化や事故の際に背もたれが前に倒れて、本製品が、自動車の座席から外れるおそれがあります。

背もたれは確実に固定してください。固定機構は車種により、異なります。自動車の取扱説明書をご確認ください。



⚠ 警告

取り付けがゆるむおそれがありますので、本製品を取り付けた後で、本製品を取り付けた自動車の座席のリクライニングを操作しないでください。

📖 ポイント!

前後に動かすことのできる自動車の座席に本製品を取り付ける場合、座席を後ろに移動させてから本製品を取り付け、取り付け完了後に座席を前に移動させると、より強く本製品を固定することができます。



⚠ 警告

上図とは逆に、本製品の取り付けがゆるむおそれがありますので、本製品を取り付けた後に自動車の座席を後ろに移動させないでください。

青色のマーキングと赤色のマーキング

本製品では、リクライニングの調節と同様に、取り付けの方法によって青色と赤色でマーキングしてあります。

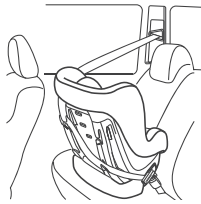
●後ろ向き取り付け時に使用する部位には青色のシールでマーキングしてあります。

●前向き取り付け時に使用する部位には赤色のシールでマーキングしてあります。

自動車の座席への取り付けかた

後ろ向き取り付け

体重 18kg 以下 (参考年齢 4 歳頃まで) ただし、体重 9kg 以上のお子さまで、後ろ向き取り付け時に足がはみ出すなど、窮屈になる場合には、前向き取り付けで使用すること



- 後ろ向き取り付け
- ソフトパッドを取り付ける (生後 6 カ月頃まで)
- ベルトクリップを使用する
- 体重 9kg 以上のお子様は、前向き取り付けでも使用可能です

●本製品を後ろ向き取り付けする場合には、青色のシールの部分を使用します。

※赤色のシールの部分は、前向き取り付けの際に使用します。

最初に次の各点を確認してから、取り付け作業をおこなってください。いずれも、本製品を自動車の座席に取り付けた状態では調節ができません。

●取り付けようとする自動車の座席が、本製品に適合すること。

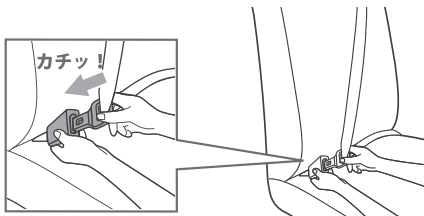
●リクライニングが、青いダイヤモンド型のマークの位置で固定されていること。

●肩ベルトの高さが適切に調節されていること。

●乳幼児ベルトおよび各種のベルト類にねじれがないこと。

●ソフトパッドが正しく取り付けられていること。
(生後 6 カ月頃まで使用します)

01 まず、本製品を取り付ける自動車ベルトバックルを留めておきます。



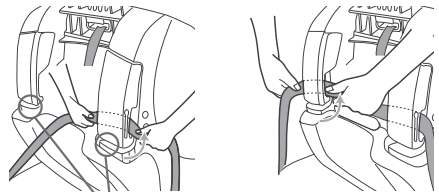
警告

自動車の座席シートベルトに、ねじれがないように注意してください。

02 図のように、本製品を自動車の座席に載せます。本体シェルの背面が自動車の座席の座面に載った状態です。



03 本体ベース底面の左右にある、青色の後ろ向きベルトスロットに、自動車腰ベルトを差し入れます。この際に、リクライニングアジャスターの赤いボタンを押さないように注意してください。



溝から滑り込ませるように自動車腰ベルトを後ろ向きベルトスロットに差し入れます。

ポイント!

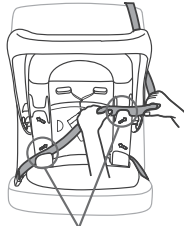
リクライニングが正しく調節されていないと、底面の後ろ向きベルトスロットは、本体ベースに隠れて見えませんので、後ろ向きベルトスロットの場所が判らない場合には、今一度、リクライニングを正しく調節するようにしてください。

04 そのまま、本製品を自動車の座席の背もたれ側に、ゆっくりと起こします。この状態で、自動車のシートベルトにねじれが生じていないか、確認してください。

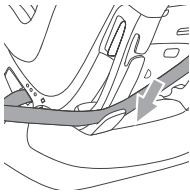


自動車の座席への取り付けかた

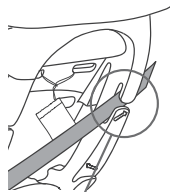
- 05** 本体シェル背面の青色のマークの後ろ向きベルトパスに、自動車肩ベルトを差し入れて通します。
図は、自動車の座席を前から見た状態で、右側の座席（または、右側に自動車のシートベルトの肩ベルト取り出し口がある座席）に取り付ける場合を示しています。



後ろ向きベルトパス



上から滑り込ませます。

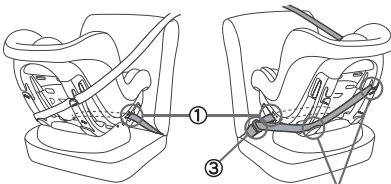


中に差し入れます。

⚠️ 注意

ベルトクリップの入った袋は、自動車肩ベルトの上側にくるようにしてください。

- 06** この後、本製品を締めつけ、固定しますが、その前に、以下のポイントをチェックしてください。



- ① 自動車腰ベルトが後ろ向きベルトスロットを通っている。
- ② 自動車肩ベルトが後ろ向きベルトパスを通っている。
- ③ 自動車ベルトバックルがしっかりと留まっている。

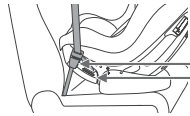
⚠️ 警告

もう一度、自動車の座席シートベルトに、ねじれがないことを確認してください。

⚠️ 警告

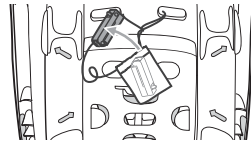
自動車ベルトバックルが正しく留まっていないと、本製品は正しく固定できません。

自動車ベルトバックルの位置が、後ろ向きベルトスロットより高い位置にいる座席では、本製品を正しく固定できません。



自動車バックルの位置が高すぎる。

- 07** ベルトクリップの入った袋から、ベルトクリップを取り出します。

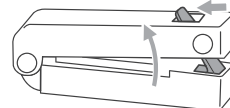


⚠️ 危険

ベルトクリップは絶対に本体から取り外さないでください。

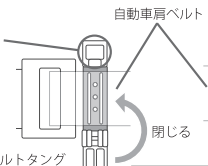
前向き取り付けの場合や、自動車から取り外して保管する場合など、ベルトクリップを使用しないとき、ベルトクリップはベルトクリップの袋の中に入れておいてください。

- 08** ベルトクリップを開いておきます。レバーを押し込みながら開くと、クリップは開きます。



ベルトクリップは、自動車ベルトタングに可能な限り近い位置で、自動車肩ベルトにのみ取り付け使用します。

ロックする部分に、座席シートベルトが掛らないよう注意してください。



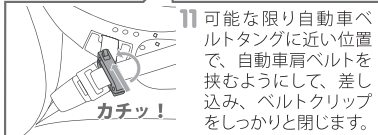
自動車ベルトタング

自動車腰ベルトは挟まないでください。

実際の取り付けは、09以降の手順を参照してください。

自動車の座席への取り付けかた

- 09 本体シェルの座面を、自動車の座席に強く押しつけながら、
- 10 自動車肩ベルトを、強く締めつけ、
- 11 その状態のまま、ベルトクリップを、可能な限り自動車ベルトタングに近い位置で、自動車肩ベルトを挟むようにして取り付け、閉じます。



ベルトクリップは、自動車肩ベルトのみ挟みます。自動車腰ベルトを挟まないでください。

ポイント！

取り付け後、本製品のリクライニングが固くて調節できない場合は、座席シートベルトを緩めてからリクライニングを調節してください。この場合、再度、座席シートベルトを強く締め付け、本製品の取り付けを確実にこなしてください。

また、座席シートベルトが緩んでしまった場合には、必ず、締め直してください。

警告

ベルトクリップは、自動車肩ベルトのみに取り付けます。自動車腰ベルトに取り付けたり、これらを束ねて取り付けたりしないでください。

固定が完全に完了する前に、座席シートベルトの固定機能が働いてしまうと、それ以上強く本製品を固定することができません。途中で、固定機能が働いてしまった場合には、P9の「座席シートベルトの種類の確認」の記載および車の取扱説明書を参照し、固定機能を解除して作業を続けてください。

注意

本製品の座面を強く押しつける際にバックル等でケガをしないように注意してください。

- 12 本体ベースの下の部分を持って、前後左右に動かし、しっかりと固定ができているか確認します。（目安としてベースが3cm以上動かないこと。）取り付けがゆるく、しっかりと固定されていない場合、09以降の作業をやりなおしてください



危険

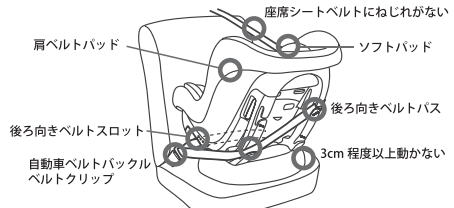
本製品の取り付けがゆるいと、事故や自動車の急な動きの変化の際に、本製品が所定の安全性能を発揮できず大変に危険です。

- 13 最後に以下のポイントをチェックします。

危険

このポイントの何れか一つにでもあてはまらない事項があれば、本製品が所定の安全性能を発揮できず大変に危険です。

- バックカバーが取り付けられていること
- 自動車の座席シートベルト（自動車肩ベルト、自動車腰ベルト）にねじれないこと
- 自動車ベルトバックルが正しく留まっていること
- 自動車腰ベルトが青色の後ろ向きベルトスロットを通っていること
- 自動車肩ベルトが青色の後ろ向きベルトパスを通っていること
- 本製品の下の部分を持って、前後左右に動かして、目安として3cm程度以上動かないこと
- 肩ベルトパッドの左右、裏表が正しい向きになっていること
- ソフトパッドが取り付けられていること（生後6カ月頃まで使用します）
- ベルトクリップが正しく取り付けられていること



ポイント！

使用を続けるに連れ、本製品の取り付けがゆるんでしまうこともあります。日常的にこれらの項目をチェックするようにしてください。

自動車の座席への取り付けかた

前向き取り付け

前向き取り付けの場合 体重 9kg 以上 18kg 以下 (参考年齢 1 歳頃～4 歳頃まで)



⚠ 危険

ベルトクリップは、前向き取り付け時には使用できませんが、絶対に本体から取り外さないでください。

●本製品を前向き取り付けする場合には、赤色のシールの部分を使用します。

※青色のシールの部分は、後ろ向き取り付けの際に使用します。

最初に次の各点を確認してから、取り付け作業をおこなってください。本製品を自動車の座席に取り付けた状態では調節ができない項目も含まれています。

●取り付けようとする自動車の座席が、本製品に適合すること。

●肩ベルトの高さが適切に調節されていること。

●乳幼児ベルトおよび各種のベルト類にねじれがないこと。

📖 ポイント！

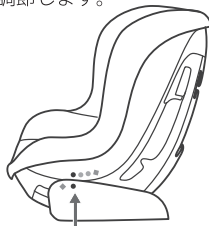
取り付け作業を行う際に、取り付ける自動車の座席のヘッドレストが邪魔になる場合、取り外してから作業してください。

⚠ 警告

自動車の座席のヘッドレストを取り外した場合、取り付けが完了したら、ヘッドレストは元通りに取り付けてください。

ヘッドレストを元通りに取り付けず、車内に固定せずに放置しておくと、事故や自動車の急な動きの変化の際に、ヘッドレストが移動し乗員にぶつかるなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

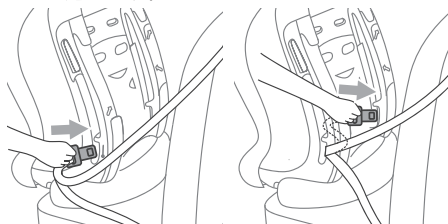
01 本製品のリクライニングを、最も立った状態に調節します。



📖 ポイント！

自動車の座席シートベルトを先に引き出しておくと、取り付け作業が楽に行えます。

02 本製品を取り付ける座席に乗せて、本体シェル背面の左右の赤色のマークの前向きベルトパスに、自動車ベルトタングを通します。



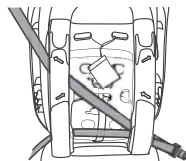
自動車ベルトタングを片方の前向きベルトパスから通して、

そのまま、もう一方の前向きベルトパスを通して、外側に自動車ベルトタングを抜きます。

⚠ 注意

ベルトクリップの入った袋は、自動車肩ベルトの上側になるようにしてください。

03 座席シートベルトにねじれがないか、確認します。

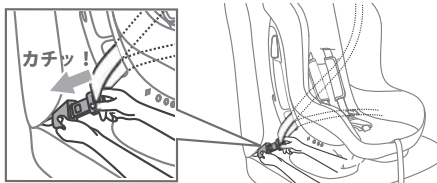


⚠ 警告

座席シートベルトにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。

自動車の座席への取り付けかた

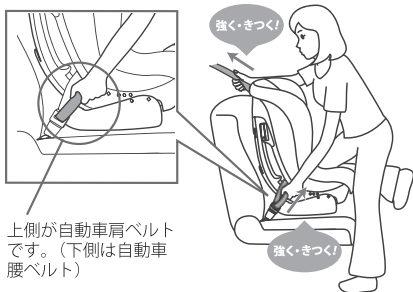
- 04 ねじれがなければ、自動車ベルトタングを完全に自動車ベルトバックルに差し込み、自動車の座席シートベルトを固定します。



- 05 座席シートベルトの自動車肩ベルトの取り出し口側にある、ロックデバイスを開けて、
06 座席シートベルトの自動車肩ベルトを上方向に差し入れて通します。



- 07 本製品の座面に肩膝を乗せるなどして、本製品に体重を掛けながら、自動車肩ベルトを強く、きつく締めあげてください。



上側が自動車肩ベルトです。(下側は自動車腰ベルト)

- 08 ロックデバイスを押し込んで閉じます。



ポイント！

大人2名で、作業を分担すると(本製品を押さえる役割、自動車肩ベルトを引く役割)、より迅速に、かつしっかりと固定することができます。

警告

固定が完全に完了する前に、座席シートベルトの固定機能が働いてしまうと、それ以上強く本製品を固定することができません。途中で、固定機能が働いてしまった場合には、P9の「座席シートベルトの種類の確認」の記載および車の取扱説明書を参照し、固定機能を解除して作業を続けてください。

注意

本製品の座面に体重を掛ける際にバックル等でケガをしないように注意してください。

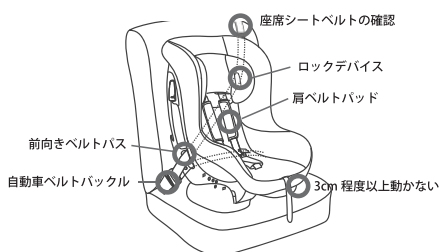
- 09 本体ベースの下の部分を持って、前後左右に動かし、しっかりと固定ができているか確認します。(目安としてベースが3cm以上動かないこと。) 取り付けがゆるく、しっかりと固定されていない場合、07以降の作業をやりなおしてください。

- 10 最後に以下のポイントをチェックします。

危険

このポイントの何れか一つにでもあてはまらない事項があれば、本製品が所定の安全性能を発揮できず大変に危険です。

- バックカバーが取り付けられていること
- 自動車の座席シートベルト(自動車肩ベルト、自動車腰ベルト)にねじれがないこと
- 座席シートベルトが、本体シェル背面の左右の赤色のマークの前向きベルトパスを通っていること
- 自動車ベルトバックルが正しく留まっていること
- 自動車肩ベルトが、本体シェル側面のロックデバイスを通っており、かつロックデバイスが押し込まれていること(ロックデバイスで自動車肩ベルトが固定されていること)
- 本製品の下の部分を持って、前後左右に動かして、目安として3cm程度以上動かないこと
- 肩ベルトパッドの左右、裏表が正しい向きになっていること
- ソフトパッドが取り外されていること

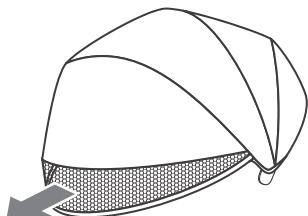


キャンピーの使いかた

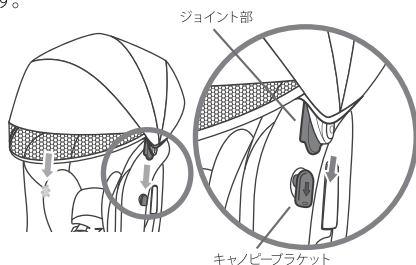
キャンピーを使用すると、お子さまに直射日光があたるのを防ぐことができます。
キャンピーは取り外して使用することもできます。

取り付けかた

- 01** キャンピーには前後があります。
あらかじめ、前後を確認します。
メッシュ部分がある方が前になります。

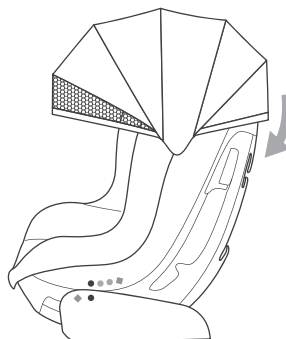


- 02** キャンピーの両側に付いているジョイント部をシエルの左右にあるキャンピーブラケットの向きを合わせて差し入れて取り付けます。



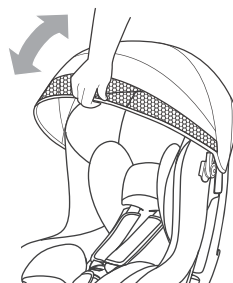
キャンピーブラケットの矢印を、
下向けにして、ジョイント部を
差し入れます。

- 03** キャンピーの後部を、シエルの背もたれ部分に被せて留めます。



使いかた

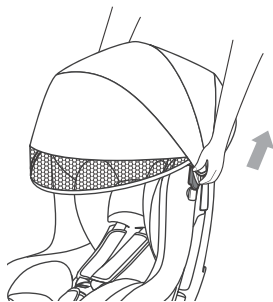
- 01** キャンピーは開閉したり、内側に折りたたむことができます。



キャンピーの使いかた／お手入れのしかた

取り外しかた

- 01 ジョイント部を持って、矢印の方向に引き上げてください。



お手入れのしかた

●シートカバーの取り外しかた

本製品では、お手入れのためシートカバーを取り外すことができます。

ポイント！

必要に応じて、バックカバーを取り外してください。
バックカバーを取り外した場合は、お手入れ後、バックカバーを正しく取り付けなおしてください。

△注意

本製品を自動車の座席に取り付けたままでシートカバーを取り外すことはできません。自動車の座席から取り外して作業してください。

取り外した部品をなくさないように注意してください。

取り外した部品は、お子様の手の届かない場所に置いてください。

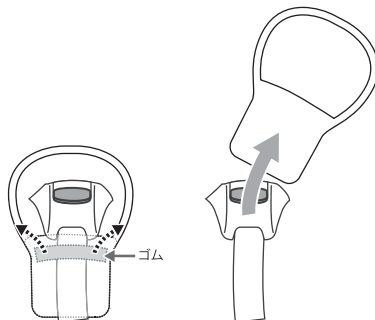
△危険

シートカバー、肩ベルトパッド、股ベルトパッドを取り外した状態で本製品を使用してはいけません。

ベルトクリップおよびベルトクリップの入った袋は、取り外してはいけません。

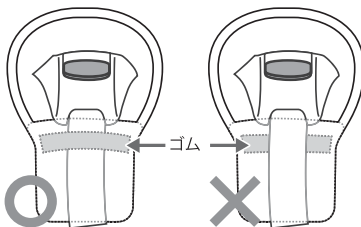
- 01 ソフトパッドがついている場合、あらかじめ取り外しておいてください。
- 02 P18「肩ベルトの高さ調節」05～13を参照して、肩ベルトと肩ベルトパッドを外します。

- 03 股ベルトカバーを股ベルトから取り外します。
股ベルトカバーは内側のゴムで股ベルトに固定されています。
ゴムを引いてゆるめ、バックルから外して、股ベルトカバーを抜き取ってください。

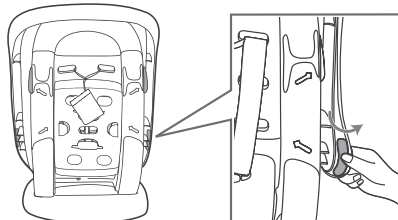


△注意

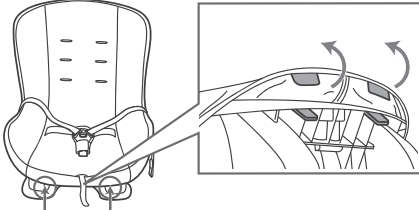
股ベルトカバーを取り付ける際には、股ベルトカバー内側のゴムで股ベルトを固定してください。
固定されていないと、使用中に股ベルトカバーが抜け落ちるおそれがあります。



- 04 本体シェル側面で、シートカバーを留めているプラスチックのプレートを左右とも取り外します。

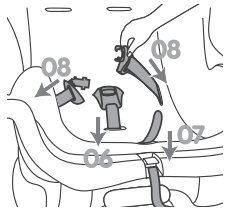


- 05 本体シェルの座席部分先端の底面を留めている2か所のプラスチックのプレートを取り外します。



座席部分先端の裏側（下側）

- 06 股ベルトと受けバックルを、シートカバーの通し穴から抜き、
07 アジャスターベルトを、シートカバーの通し穴から抜き、
08 左右の腰ベルトと差込タンクを、シートカバーの通し穴から抜きます。



△ 注意

作業はゆっくり、丁寧に行ってください。勢いよくベルト類を抜くなどすると、シートカバーを破損するおそれがあります。

- 09 シートカバーを本体シェルから外します。シートカバーの取り付けは、逆の手順で行ってください。シートカバーを取り付けたら、次の項目を確認してください。

- 乳幼児ベルトおよびベルト類にねじれがないこと
- 股ベルトパッド、肩ベルトパッドが正しく取り付けられていること（ソフトパッドが必要な場合は、ソフトパッドの正しい取り付けも確認してください）
- シートカバー側面左右のプラスチックプレートおよび本体シェルの座席部分先端の底面で留めているシートカバーの2か所のプラスチックのプレートが、それぞれ正しく留まっていること
- バックカバーを取り外した場合は、正しく取り付けなおすこと

●汚れの落とししかた

シートカバーおよびパッド類は、次のように汚れを落としてください。
ソフトパッドのお手入れに関しては、P17の「●ソフトパッドのお手入れ。」もかならず参照してください。

📖 ポイント！

ソフトパッドのインナーパッドは、洗濯することができません。P17の「●ソフトパッドのお手入れ。」を参照して、インナーパッドを取り外した上で、ソフトパッドのカバーのお手入れをしてください。

⚠ 警告

ソフトパッドのインナーパッドは、かならず、正しい向きで使用してください。向きが異なっていると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。ソフトパッドのカバーをお手入れした後は、P17の「●ソフトパッドのお手入れ。」を参照して、インナーパッドを正しい向きで、ソフトパッドのカバーに戻してください。

- 30℃以下のぬるま湯で手洗いしてください
- アイロンはかけられません
- 漂白、ドライクリーニングはできません
- 洗剤を使う場合は、薄めた中性洗剤を使用するようにしてください。ガソリンや有機溶剤は絶対に使わないでください
- 日陰に吊るして干して乾燥させてください
- 変形の原因になりますのできつく絞らないでください

⚠ 警告

お手入れのため取り外したシートカバーやパッド類などの部品は、本取扱説明書の記載に従い、正しく取り付け直してください。

△ 注意

シートカバーおよびパッド類は、十分に乾かしてから取り付けてください。

洗剤を使用した場合、洗剤をしっかりと洗い流してください。

本体シェル、本体ベース、ベルトクリップ、ベルトクリップの入った袋、ベルト類、キャンピーは、次のように汚れを落としてください。

- 水またはお湯をきつくしぼった布で汚れを拭き取ってください（汚れがひどい場合には、水またはお湯に中性洗剤を薄く混ぜてください。洗剤を使用した場合、しっかりと洗い流してください）
- ガソリンや有機溶剤、クレンザーなどの研磨剤は絶対に使わないでください
- 水やお湯、洗剤を直接掛けないでください

お手入れのしかた

⚠ 危険

本製品のお手入れのためでも、潤滑油は絶対に使用しないでください。
潤滑油が付着すると、本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。

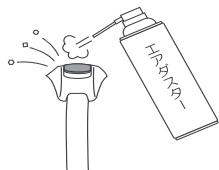
⚠ 注意

洗剤を使用した場合には、しっかりと洗剤を拭き取ってください。

万が一、本体シェルや本体ベースを濡らしてしまった場合、十分に乾かすようにしてください。

バックルは、次のように汚れを落としてください。

- 差込タンクは、水またはお湯をきつくしぼった布で汚れを拭き取ってください（洗剤は使用しないでください）
- 受けバックルは、バックルの中のゴミを掃除機で吸い取るか、エアダスターなどを使用して汚れを吹き飛ばすようにしてください



⚠ 危険

バックルが正常に機能なくなりますので、潤滑剤、サビ止め、薬品などを使用しないでください。

バックルに異常が認められる場合、そのまま使用せず、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。

📖 ポイント！

差込タンクに汚れが付着したり、受けバックルの中に食べかすやゴミなどが入るとバックルが正常に機能しなくなるおそれがあります。

これを防ぐため、お様が使用していない時や、本製品を保管する際にも、バックルを留めておくようにしてください。

● 本製品の廃棄について

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指定に従い、正しく廃棄するようにしてください。
また、再利用による事故を防ぐため、「廃棄品」と明示しシートを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようにしてください。